

千葉大学

# 人文社会科学研究

(旧 社会文化科学研究)

第34号

論文

「湖南の扇」論——黄六一を糸口にして  
福永武彦『風土』論——帰郷とロマン主義  
「なよ竹物語絵巻」と似絵の関係をめぐる考察

藤西王  
田 書  
紗一  
樹 豊  
25 13 1

2017年3月

千葉大学大学院人文社会科学研究所



リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

千葉大学

# 人文社会科学研究

(旧 社会文化科学研究)

第34号

論文 鈴木 隆司、高岡 寛樹	つくることによって学ぶ生活科・総合的学習 ——デューイにおける仕事 (occupation) 論の再検討.....	1
高 民定、藤田 依久子	観光地における言語的接遇と言語管理の実態 ——石垣島での予備調査と濟州島における事例調査を通して.....	15
亀井 隆太	高齢者を支える見守り契約と財産管理契約——任意後見との関わりを中心に.....	33
中村 文彦	国際財務報告と会計研究.....	48
大浦 明美	初代女刑務所長・三田庸子は福祉を創ったのか？ ——一番ヶ瀬康子の女性福祉の視点を背景に.....	60
壁谷 彰慶	社会的養護における生育情報管理をどう考えていくべきか ——ケアラーバーへの制度的問題として.....	73
岡野 孝信	「病院統一スト」の歴史的意義と企業別組合克服への萌芽.....	84
小川 洋二	外国につながる高校生の学校適応.....	101
ギミル・ハリ・パラサド	ネパールにおける海外支援に関する国家計画の対応.....	119
立神 作造	奄美大島における葬送祭祀儀礼の実践 ——宇検村平田(へだ)集落における共同納骨堂の共同性.....	138
田中 秀典	幕閣登用論序説——分析の枠組みと視角.....	153

2017年3月

千葉大学大学院人文社会科学研究所

千葉大学

人文社会科学研究所

第三四号

二〇一七年三月

# Studies on Humanities and Social Sciences of Chiba University Vol.34 – 2017.3

## ARTICLES

SUZUKI Takashi, TAKAOKA Hiroki	Learning by Making for Living Environment Studies and Integrated Studies :A Re-examination Way of Thinking for ‘Occupation’ in Dewey.....	1
KO Minjeong, FUJITA Ikuko	Actual conditions of linguistic conducts and language managements in tourists’ spots :Through a preparatory research in Ishigaki island, Japan, and case studies in Jeju island, Korea.....	15
KAMEI Ryuta	Property management support for the elderly and voluntary guardianship.....	33
NAKAMURA Fumihiko	Global Financial Reporting and Accounting Research.....	48
OURA Akemi	Prison warden of The first woman Did · MITA Yoko do welfare-like support? :Against the background of the angle of the female welfare of ICHIBANGASE Yasuko.....	60
KABEYA Akiyoshi	How to Manage One’s Own Fostering Records in Orphanages:Considering Institutional Matters for Care Leavers.....	73
OKANO Takanobu	Historic significance of a first nationwide strike by hospital workers and beginning of the development from labor union organized within an individual company towards labor unions.....	84
OGAWA Yoji	The School adjustment of High School Students related to foreign countries.....	101
GHIMIRE Hari Prasad	Corresponding to the National Plan on Foreign Aid in Nepal.....	119
TATEGAMI Sakuzo	Practices of the funeral rites in Amamioshima:Communality of the public chanel house in the Heda-Ukenson Village.....	138
TANAKA Hidenori (Vertical Writing)	An Introduction to the Theory of Appointing Cabinet Officials in the Edo Shogunate.....	153
WANG Shuwei	On The Fan of Hunan : With Huang Liuyi as the perspective.....	1
NISHIDA Kazutoyo	A Study of Fukunaga Takehiko’s “Fuudo”:Homecoming and Romanticism.....	13
FUJITA Saki	A Study on The Relationship Between A Picture Scroll of <i>The Tale of Nayotake</i> and <i>Nise-e</i> .....	25

## 『千葉大学人文社会科学研究』投稿規程

平成18年4月1日制定  
平成20年10月1日改訂  
平成26年4月1日改訂

平成19年4月1日改訂  
平成21年4月1日改訂

### 第1条（目的）【平成26年4月1日改訂】

本誌は千葉大学大学院人文社会科学研究科(以下、「本研究科」と記す)の研究紀要である。本研究科での研究活動の成果を内外に公表し、また院生にも研究成果の発表の場を提供することによって、研究成果を共有し、かつ広く社会に公開し、本研究科での一層の研究活動の発展をめざす。

### 第2条（編集発行者と発行回数）

本誌は毎年1回発行し、編集・発行については紀要編集委員会がこれを行うものとする。ただし紀要編集委員会が必要と判断した場合には、複数回発行することができる。

### 第3条（投稿資格）

- a.（投稿資格者）【平成19年4月1日改訂】  
【平成20年10月1日改訂】  
【平成21年4月1日改訂】  
【平成26年4月1日改訂】

本誌に投稿する資格を有する者は以下の通りである。

- 本研究科所属教員
- 休学者を除く本研究科博士後期課程所属院生（ただし、指導教員が査読の上、承認したものに限り掲載するものとする）
- 本研究科博士後期課程および社会文化科学研究科の学位取得者、単位取得退学者（ただし、本項の該当者が多数に及ぶ場合は、紀要編集委員会にて調整を行うことがある）
- 紀要編集委員会が特に必要と認めた者（ただし、投稿者の申請による場合は、紀要編集委員会が別に定める書式の提出を必要とする）

### b.（休学者等の投稿について）

休学者、退学者（単位取得者は除く）は原則として本誌に単独で投稿することはできない。

本誌への投稿後、学期内に休学した者はその学期発行の号への掲載はできない。復学時に改めて投稿するものとする。

### c.（複数人による投稿について）

複数人によるひとつの投稿は、論文、研究ノートおよび論文に準ずる字数で書かれる翻訳、史料紹介のみとし、最低1名の本研究科教員を含まなければならない。

### 第4条（スタイルガイド）

執筆については、編集委員会により別途作成されるスタイルガイド（紀要執筆要項）に従うものとする。

### 第5条（未発表・完全原稿）

投稿原稿は全て未発表のものとし、完全原稿で提出する。

### 第6条（修正）

投稿された原稿について、編集委員会が書き直しを求める場合がある。

### 第7条（著作権）

本研究科紀要に掲載された記事・論文などの著作権はそれぞれの著作者に属するが、各著作者は、本研究科紀要の電子化・公開に必要な限度でその権利が千葉大学大学院人文社会科学研究科によって行使されることを承認するものとする。

## 『千葉大学人文社会科学研究』第34号

2017年3月30日発行

編集兼発行者 千葉大学大学院人文社会科学研究科

表紙デザイン 森 佳三（社会文化科学研究科修士）

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 TEL/FAX 043-290-3823

印刷所 勝美印刷株式会社

## 執筆者紹介（掲載順）

※括弧内は本研究科博士後期課程在学生の指導教員。太字は主任指導教員。

すず 鈴	き 木	たか 隆	し 司	本研究科教授
たか 高	おか 岡	ひろ 寛	き 樹*	本研究科博士後期課程（鈴木 隆司、大田 邦郎、藤川 大祐）
こう 高		みん 民	じよん 定	本研究科准教授
ふじ 藤	た 田	い 依	く 久	安田女子大学准教授
おう 王		し 書	い 瑋◆	北京科技大学外国語学院准教授
かめ 亀	い 井	りゅう 隆	た 太	横浜商科大学専任講師
なか 中	むら 村	ふみ 文	ひこ 彦	社会文化科学研究科修了生、慶應義塾大学非常勤講師
にし 西	だ 田	かず 一	とよ 豊◆	社会文化科学研究科修了生、本研究科特任研究員
おお 大	うら 浦	あけ 明	み 美	本研究科博士後期課程修了生、千葉地方検察庁社会福祉アドバイザー
かべ 壁	や 谷	あき 彰	よし 慶	社会文化科学研究科単位取得退学、本研究科特任研究員
おか 岡	の 野	たか 孝	のぶ 信	本研究科博士後期課程（三宅 明正、水島 治郎、荻山 正浩）
お 小	が 川	わ 洋	じ 二	本研究科博士後期課程（米村 千代、清水 洋行、出口 泰靖）
ギミル・ハリ・パラサド				本研究科博士後期課程（磯崎 育男、小川 哲生、五十嵐 誠一）
たて 立	がみ 神	さく 作	ぞう 造	本研究科博士後期課程（小谷 真吾、高橋 絵里香、清水 洋行）
た 田	なか 中	ひで 秀	のり 典	本研究科博士後期課程（米村 千代、引野 亨輔、山田 賢）
ふじ 藤	た 田	さ 紗	き 樹◆	本研究科博士後期課程（池田 忍、上村 清雄、柴 佳世乃）

注 1) \*は共著者であることを示す。

注 2) ◆は縦書きページに掲載されていることを示す。